

長久手市立市が洞小学校での出前講座実施報告書



1) 講座の様子

長久手市立市が洞小学校は、当初、藤前干潟の稲永ビジターセンターで校外学習を実施する予定でしたが、緊急事態宣言発出などの影響で、名古屋自然保護官事務所が実施する出前講座を実施することになりました。総合学習の「環境」の授業の中で、今後、児童の皆さんがそれぞれ調べ学習などを実施するという中で、生物多様性やごみ問題、SDGs など、現在の環境問題のキーワードを交えて講座を実施して欲しい、という依頼にあわせ、10月13日(水)に5年生5クラス(195名)を対象に出前講座を実施しました。

当日は、干潟の成り立ちや生きものについて紹介し、シジミの浄化実験でシジミが水を浄化する能力を実際に見てもらいました。また、藤前干潟が埋め立てから守られた背景や、現状の課題である漂着ごみやプラスチックごみの問題について紹介しました。短い時間の中で、藤前干潟の重要性だけでなく様々な課題などについても話をしたため、駆け足になる場面もありましたが、児童の皆さんがメモをとりながら真剣に話を聞いてくれる姿が印象的でした。

今回の出前講座を参考に、今後、さらに調べ学習などで理解を深めていって欲しいと思います。また、今回は、残念ながら藤前干潟に来ることが出来ませんが、ぜひ機会があれば、皆さんに実際の干潟を体験して欲しいと思います。

2) 講座の内容

テーマ：多様な生きものをはぐくむ藤前干潟

1. 干潟ってどんなところ？
2. 藤前干潟の多様な生きもの
シジミの浄化実験
3. 保全された藤前干潟
4. 藤前干潟がかかえる問題



<メモを取りながら話を聞く児童>



<講座後に生きもの標本を観察する様子>

3) 実施概要

実施日：令和3年10月16日(水) 9:40~12:25

※2~4時限、1時限毎に複数クラスまとめて3回実施

場所：長久手市立市が洞小学校(長久手市)

対象：小学校5年生(5クラス、195名)

対応：名古屋自然保護官事務所職員2名

※出前講座については、名古屋自然保護官事務所
(TEL: 052-389-2877) までお問い合わせください。

令和3年10月15日

名古屋自然保護官事務所

アクティブ・レンジャー 西部理恵